



広がる夢

第5—263号

令和5年10月31日

がっこうきょういくもくひょう み みと たか
学校教育目標 「見つめ」「認め」「高める」

創立31年目 アップデートを続ける文化発表会！

こうちょう たか はし ひで よし
校長 高橋 秀吉

10月24日（火）、学校で前日祭が行われました。これまでに生徒のみなさんが学校の教育活動の一環として取り組んできた英語スピーチや、国際交流部、吹奏楽部の発表がありました。英語スピーチの2名のスピーカーには、説得力のある内容と表現力豊かなパフォーマンスで圧倒されました。国際交流部は文化の異なる国についてプレゼンテーションし、みんなの興味関心を引いていました。吹奏楽部は全生徒を巻き込んでの迫力ある楽しい演奏とコンクール曲のコンビネーションで、観客を魅了していました。

さらに、毎年恒例の有志団体の発表では、これまで個人や仲間と取り組んできた歌やバンド演奏、ダンスで会場が一体化し、盛り上がりとともにインパクトのある充実した内容となりました。日常の学校生活とは趣が異なった多様性のある表現と個性が輝く発表となり、文化発表会という非日常を存分に楽しむことができた1日でした。

翌日の10月25日（水）は、昨年度に続き神奈川県立音楽堂にて合唱コンクールが行われました。今年度も抽選に応募してみたところ当選し、幸運にも2年連続で音響に優れたホールで行うことができました。各クラス、自由曲のみの発表でしたが、それぞれに選曲の段階から真剣に取り組み、さまざまに困難な状況を乗り越え、そのクラスらしい素敵な合唱となりました。合唱としてのクオリティも高く、それぞれの合唱曲の持つメッセージや音楽的響きに説得力があり、曲の世界に浸りながら素敵な時間が流れました。指揮者、伴奏者の皆さんも努力を重ね、大いに貢献していました。

今回の文化発表会を通じて感じたことは「アップデート」の重要性です。同じことを同じように続けていくことも時に必要ですが、時代の変化に対応したり、時には先取りしたりしながら常に内容や方法を更新し、物事をより良くしていく姿勢が求められます。このことは文化発表会などの行事のみならず、学校教育全般に言えると思います。学校教育目標の「見つめ・認め・高める」のサイクルを意識しながら、失敗を恐れず、失敗から学び、次に生かしたり新しいことにチャレンジしたりすることが大切です。あらためて、現状維持ではなく、より良く変化し続ける本牧中学校にしていきたいと感じました。

観覧やボランティア等でご協力いただきました保護者の皆さま、お忙しい中でのご支援、ありがとうございました。

